

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：保健予防諸費

## 事業名 原爆被爆者健康管理生活指導事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 精神保健福祉係 電話番号：058-272-1111(内3313)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 200 千円 (前年度予算額： 200 千円)

### <財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳    |            |            |            |     |     |     |            |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
|     |     | 国 庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財 産<br>収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般<br>財 源 |
| 前年度 | 200 | 35         | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 165        |
| 要求額 | 200 | 17         | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 183        |
| 決定額 | 200 | 17         | 0          | 0          | 0          | 0   | 0   | 0   | 183        |

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内に在住する原子爆弾の被爆者に対し、健康管理や生活指導を行う。

### (2) 事業内容

県内在住の被爆者に対する相談会を開催し、医師、ケースワーカーのもとで健康管理や生活指導を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県内在住の被爆者の円滑な健康管理、生活を確保する必要があり、一部国庫補助により実施する。

国1/2(1回あたり上限8,690円)

「原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金(原爆被爆者相談事業)」

### (4) 類似事業の有無

無し

### 3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額  | 事業内容の詳細    |
|------|-----|------------|
| 委託料  | 200 | 相談員報償費、旅費等 |
| 合計   | 200 |            |

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### 国・他県の状況

厚生労働省補助事業

原爆被爆者保健福祉施設運営費等補助金（原爆被爆者相談事業）

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 原子爆弾被爆者のうち、県内在住者の健康及び生活支援を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前<br>(R) | R6年度<br>実績 | R7年度<br>目標 | R8年度<br>目標 | 終期目標<br>(R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| ①   |              |            |            |            |             |     |

### ○指標を設定することができない場合の理由

事業内容から達成すべき目標値の設定にそぐわない。

### （これまでの取組内容と成果）

|               |   |
|---------------|---|
| 令和<br>4<br>年度 | <p>○個別相談<br/>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から1対1の個別相談会を実施し、被爆者の健康管理及び生活指導の支援に資することができた。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>   |
| 令和<br>5<br>年度 | <p>○第1回相談会 令和5年10月22日<br/>                     第2回相談会 令和6年 3月22日<br/>                     被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |
| 令和<br>6<br>年度 | <p>○第1回相談会 令和6年11月10日<br/>                     第2回相談会 令和7年 3月14日<br/>                     被爆者の健康管理及び生活指導を実施し、その支援に資することができた。</p> <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p> |

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

|   |  |
|---|--|
| ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)<br>3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない   |  |
| (評価)<br>3   | 被爆者が高齢化する中、その健康管理を生活指導は引き続き必要である。                                |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)<br>3:期待以上の成果あり<br>2:期待どおりの成果あり<br>1:期待どおりの成果が得られていない<br>0:ほとんど成果が得られていない |  |
| (評価)<br>3   | 被爆者が高齢化する中、健康及び生活支援などに寄与し、成果を出せている。                              |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)<br>2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている   |  |
| (評価)<br>2   | 被爆者のニーズに合わせて、医師やケースワーカーなど支援者を変更しながら、的確に健康及び生活支援につながるよう、運用を行っている。 |

### (今後の課題)

|                             |
|-----------------------------|
| ・事業が直面する課題や改善が必要な事項<br>特になし |
|-----------------------------|

### (次年度の方向性)

|  |
|--|
| ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか<br>引き続き、健康管理及び生活指導の機会を確保していく。 |
|--|